

誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに！

玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

vol. 14(創刊第十四号) 2021.3

発行&発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会

代表 服部 知行

2020年度 事業報告及びお知らせです！

～文教・地域交流～

3月21日(日) さくらんぼホール和室にて『さくら茶会』を開催いたします。
地域の方々をお招きし、子どもたちがお点前を披露いたします。一服のお茶を通じて
人と人との間に心の通いを深めていく穏やかな時間を過ごします。

申込み先：秋田 史津香 akita.s@matabee.com

担当：松香 光夫 mmat.tamagawa@gmail.com 前野 紀夫 tomao@jcom.home.ne.jp

秋田 史津香 akita.s@matabee.com



～はなびら市・地域活性化～

第11回 はなびら市&さくらめぐり

日時：3月27日(土) 11時～15時
(雨天の場合3月28日(日)に順延)

場所：三丁目こども広場
(ころころ児童館ウラ)

主催：玉川学園はなびら市実行委員会

連絡先：篠原 TEL090-8517-0116

今年は例年と趣向を変え、

「さくらめぐりと本と着物・お点前体験」を
メインに三丁目こども広場と鉢巻道路での
スタンプラリー&ご近所散策を楽しみます
(飲食店の出店は少なめです)。

広場では手づくり雑貨や本の販売もあり。

お茶とエコバッグを持参のうえ、ぜひいらしてください！

*このイベントは新型コロナウイルス感染症対策を十分行ったうえで開催いたします。

*出店情報 (3/11現在)

- ・ニットとジャムbyニット工房&わあくす
- ・ベーグルショップDaily'sBakestand
- ・出張! きんじよの本棚
- ・goes on がま口&バッグ
- ・Ordinary Things シーグラスと真鍮アクセサリーのお店
- ・enui ハンドメイドマスクと髪飾りのお店
- ・プレーリヤカー
- ・玉川学園の美しい着物、格安販売会
- ・saffron(サフラン)大人スタイルのアクセサリー
- ・町田市発の文芸創作誌「ウィッチンケア 第11号」最新号先行発売会
- and more.....

スタンプラリー
お点前体験
着物体験
焼き団子

～子どもが遊べる広場～

コロナ禍の為、グローブを使ったキャッチボールが出来ていない。自分のグローブを持参し、参加しに来る児童がいるだけに、一日も早い収束を望むばかりです。グローブ、Uボール、柔らかボール、ベース等、町5小、南大谷小、ころころ児童館共に設置が完了し、月一回/一時間の活動を定例化することが出来ました。

「三角ベース」遊びを「ベースボール5」(ベース1枚追加)に切り替えたが、低~高学年児童でチームを作り、対抗戦をするには我々の手助けが不可欠。サッカーゲームでは、低~高学年児童揃ってのゲーム遊びが出来ているのを見るにつけ、気長に一緒に遊んでやるのが求められています。お手伝い頂ける方のご連絡をお待ちしております。

担当：大山 憲一 042-729-4401



～街かど・なんでも相談室～

安全に十分配慮して開設を続けています。この状況下、ストレスを感じられている方が多く居られるようです。心を整えるお手伝いもさせていただきたいと思ひます。そのためにも広報・周知に一層力を入れます。併せて、協力団体との連携を大切に取組みます。町田第3高齢者支援センターのFacebookに掲載して

いただきました。→玉川学園地区社会福祉協議会では、「街かど・なんでも相談室」を月3回開催しています。地域の民生委員さんや、保護司さん含め、児童・障害・高齢者分野の方々が対応しています。深刻な話ではなくてもふらっと来てお話しする憩いの場にもなっています。気軽にお立ち寄り下さい。

担当： 剣持 勝 mkenmochi@nyc.odn.ne.jp



～玉ちゃんサービス (玉川学園地区)～ ☆「援」から「縁」へ。「お互いさま」の繋がり広がる☆

緊急事態が発令された4月から5月にかけては、利用者さん協力者さん共に、人との接触を極力少なくしようとする自粛ムードによって、前年度の同月利用実績の30%まで激減しましたが、その後11月には70%まで回復しました。利用者さんからは「こんな時だからこそ、いつものように訪問し、屋内掃除をして下さると協力者さんに本当に感謝です。」とニッコリ笑顔が。一方、協力者さんからは、「おひとり暮らしをされながら、常に前向きに生きようと心がけられているお姿が嬉しく、こちら元氣をもらっています。」といった声も聞かれました。こうしてコロナに負けることなく、協力者さんがサポートする「援」を通して利用者さんとのご「縁」が生まれ、「お互いさま」の繋がり、今、玉川学園地区に広がりつつあります。

担当： 井上 宮子 miyakoyamamomo@yahoo.co.jp



～玉ちゃんサービス (南大谷地区)～

発足と同時に、新型コロナウイルス感染拡大により、厳しい状況での船出となりなした。2年目も引き続き、*広報 *利用者・協力者の拡大を柱に、「焦らずに、コツコツと」を合言葉に活動して参ります。

担当： 松原 三郎 matura-s@sweet.ocn.ne.jp 備海 直子 irohachan1126@yahoo.co.jp

～空き家にしないための啓発～

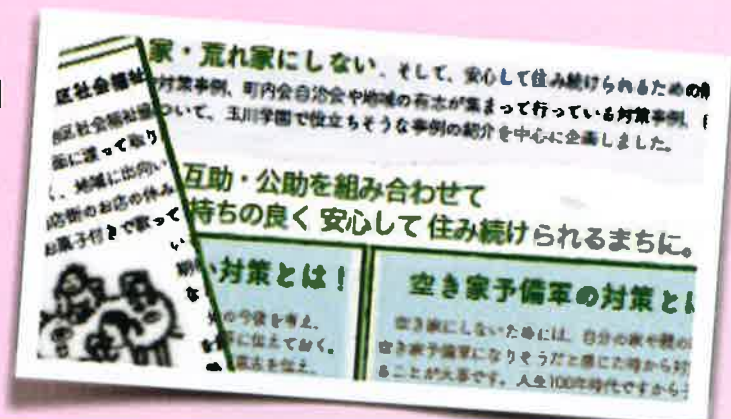
コロナ禍ということもあり、タブロイド判新聞「地域資源活性化プロジェクト まちかどときどつき通信」を発行しました。近隣や地域の活動紹介に加えて、第1号では、人生100年時代の地域&老後の充実すごろくのような図式を中心に。第2号では、全国の先進事例の紹介を中心に企画しました。

市役所おうえんルームや玉川学園駅前連絡所、駅近くの一部医院やカフェなどに置いてもらいました。

町内会の回覧板でも回ります。

是非お目通しください。

担当： 木村 真理子 atelier@kimuramariko.com



～玉南地区・特殊詐欺防止策～



「みんなにやさしい街」町田市は、住み良い環境がメディアから全国版で紹介されています。反面、特殊詐欺被害者の多い街は、市内では周知されず住民間の意識不足がサギの標的になりました。特殊サギは巧妙な仕掛けで襲い掛かります。我々の身近にも生々しい未遂事件がありました。

今般、玉南協議会では小さな運動に取り組みました。1.弁天橋公園内で将棋を指す仲間とともにその場で集まる面々にチラシ配布、2.町田第3高齢者支援センタースタッフの方が、玉南地区（高ヶ坂と成瀬一部を含む）の65歳以上（850人超）の方々にチラシと警視庁発行のサギ防止チラシを各戸に配布、地域活動団体の協力を得てチラシを配布しながら、「お互い被害者に会わない対策は何か!」「サギの電話口から誘導される言葉

に騙されないこと!」など個々の対話を重点に活動してきました。

また、防犯イベントではチラシを重点的に配布しました。町田警察署署長・町田市役所市民生活安全部長・町田市町内会連合会長・町田市防犯協会会長と会員有志の方々の参加、協力もありました。民間と行政が一体となった事、強いインパクトとなりました。

多数ご協力頂いた方々にお礼申し上げます。



担当：上原 洋 u.journey_taka_no.6@docomo.ne.jp

～葉っぱバンク～



落葉の季節を終えて、お掃除をしていただいた皆さんから預かった沢山の落葉は、今、三つのコンポストの中で眠っています。次の秋には、お返しできる腐葉土の品質が良いものであるようにと、米糠を入れて攪拌したり、雨に時々さらしシートをかけて蒸すなど工夫が必要と考えています。

担当：木村 彰男 kimura21@jcom.home.ne.jp



～おむすび食堂+冒険遊び場～

感染対策をしっかりと行い、みんなで集まって、外だからできること、想いを共有することを大切にしたいと思っています。

みんなの仲間はずっとここにいます。あなたも私も1人じゃない。

子どもも大人もみんな遊びにきてください。

担当：秋田 史津香 akita.s@matabee.com

携帯：090-1799-1899



～広報～

葉っぱバンクやおむすび食堂、玉ちゃんサービスなどの各事業や構成団体の放課後等デイサービス「レ・マーニ」に伺い、交流を持ちました。また、地域のイベント（焼き芋会やフラッグアート展示）に参加し、町内会コミュニティ部や地域の方々にお会いしお話したことで、玉南地区協議会をより多くの方に知ってもらえたと思います。今後もコミュニケーションを円滑に各事業や構成団体と連携して活動していきたいです。

担当：船生みどり kenzentama@gmail.com 翁 真由美 tqmo.tikukyouqikai@gmail.com



二世、三世に渡る人、明日引っ越してくる人も
住民みんなで作る南大谷・玉川学園のまちづくり・・・

このまちは、人が宝です

構成団体の最新情報をお届けします！

2020年4月、昭和薬科大学に地域連携センター（初代メンバー10名）がオープンしました。

町田市に大学が移転して30年という記念の年に、地域とつながることを目的にしたセンターができたことを一同、喜んでおります。赤ちゃんから高齢者の方まで多世代の市民と交流し、大学生が多様な学びを得ること、また市内唯一の医療系の薬科大学として「薬を通して」地域社会に貢献すること、を目指して活動していきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昭和薬科大学地域連携センター主催「おくすり相談カフェ！」を開催

大学と町田市の協働により、子育て親子に仲間づくりや相談の時間を提供してきた「おくすり相談カフェ」を、今年オンラインで実施することになりました。

1月28日の午前中、町田市地域活動サポートオフィスの協力のもと、生まれてちょうど100日目を迎えたお子さんをお連れのママをはじめ、6人のママと5人のお子さんがカフェに参加してくれました。登壇いただいた3名の薬剤師さんは、小児薬物療法認定薬剤師の有資格者で、お薬のことだけでなく発達についての専門的な助言をいただくことができました。詳しい内容は町田市地域活動サポートオフィスのウェブページで公開中です。<https://machida-support.or.jp/report/report20210128/>

当日の様子↓



昭和薬科大学地域連携センター センター長 吉永真理

～放課後等デイサービス「レ・マーニ」移転のお知らせ～

放課後等デイサービス「レ・マーニ」は、20年、玉川学園で活動を続けてきましたが、耐震基準の指導に伴い、3月より藤の台団地へ移転しました。第五小や南大谷小など周辺エリアへの送迎も引き続き行い、これまでと変わらぬ仲間たちが集まっています。団地には多くの公園があり、外遊びには最適の空間です。

近隣の皆さまとの交流の機会にも恵まれ、さらなる発展へと期待が膨らみます。

NPO法人レ・マーニ（放課後等デイサービス）理事長 市川 健一

東京都町田市藤の台1-1-49-101 TEL:042-851-8209



< お問い合わせ先 >

玉川学園・南大谷地区協議会事務局

（玉川学園コミュニティセンター 駅前連絡所内）

TEL 042-732-9372

代表 服部 知行 hym-kaede@jcom.home.ne.jp

事務局長 篠原 佑 shinotasuku@yahoo.co.jp

ホームページ・Facebookも随時更新しています。
是非ご覧下さい！

<https://tgmotikukyougikai.blogspot.com/>

広報担当：翁 真由美

tgmo.tikukyougikai@gmail.com

